

安全な看護の提供と優先順位

安心
安全

研修目的:

複数の患者に対して安全な看護を提供するために必要な能力を養う

研修目標:

1. 必要に応じた報告・連絡・相談が分かる
2. 安全に配慮した優先順位の判断について理解する

実践現場で「どうしよう・・・」と思うことがある。そんなときはどうしたらいいの？



今日の研修の流れ

- ① 多重課題になってこまった経験を振り返る
- ② 多重課題とは何か(講義)
- ③ 多重課題を回避するための準備(講義)
1日の行動計画をたてる
必要なケアの予測を立てる
必要なことを報告(連絡・相談)する
- ④ 多重課題経験を振りかえり今後のアクションプランがわかる

どんな時に「困った」のか、そのときの予定表はどうなっていたかを話し合い、改善策を出しました。

多重課題には「予期できること」と「予期できないこと」があり、行動計画をたて、メンバーと共有することを学びました。

困りごとが発生した時点で、先輩看護師に相談することや、その時にはSBARを意識した報告を行うことも学び、SBARでの報告の演習を行いました。すぐにはできないので、OJTで身に付けてもらいます。看護師の困りごとは患者さんに影響することを理解し、報連相の重要性を再認識出来ました。

講義聴講の様子



先輩看護師は

- ・話しかけやすい雰囲気
 - ・話を最後まで聞き、答えを与えすぎない
- の2点に気を付けながら、新人看護師と関わるようにしています。

